

## SATREPS/A1・9月ミッション活動報告

### 1. 日程

No.	日付	時間	場所	活動内容
1	8月30日(日)	13:20 - 19:10	成田空港→コロンボ	渡航
2	8月31日(月)	09:00 - 10:10	JICA スリランカ事務所	A1 活動状況と今後の計画(アクションプラン・ワークショップ及びガイド作成進捗状況)
3		10:40 - 13:30	National Centre for Advanced Studies in Humanities and Social Sciences	A1 活動状況と今後の計画(アクションプラン・ワークショップ及びガイド作成状況)、廃棄物関連省庁の活動及び意見交換
4		14:00 - 14:30	World Bank スリランカ事務所	A1 活動状況と今後の計画(アクションプラン・ワークショップ及びガイド作成状況)、意見交換
5		15:00 - 17:50	KOICA・EDCF スリランカ事務所	A1 活動状況と今後の計画(アクションプラン・ワークショップ及びガイド作成状況)、KOICA・EDCFの活動、意見交換
6		9月1日(火)	10:00 - 11:00	Cinnamon lakeside hotel
7	11:40 - 16:30		コロンボ→キャンディ	移動
8	9月2日(水)	10:10 - 11:30	ペラデニヤ大学	ガイドの性格・内容などに関する議論
9		14:10 - 15:00	ペラデニヤ大学	ワークショップ事前打合せ
10	9月3日(木)	09:25 - 11:10	ウダパラータ村役所	ウダパラータ村アクションプラン・ワークショップ(アクションプラン実施に関する議論)
11		14:00 - 15:40	ガンボラ町役所	ガンボラ町アクションプラン・ワークショップ(アクションプラン実施に関する議論)
12	9月4日(金) ～	09:15 - 11:10	キャンディ市 Devon Bakery	キャンディ市アクションプラン・ワークショップ(アクションプラン実施に関する議論)
13	9月5日(土)	14:10 - 17:00	キャンディ→コロンボ	移動
14		23:30 - 11:50	コロンボ→成田空港	渡航

### 2. 活動内容

## 2-1 JICA スリランカ事務所

日時	2015年8月31日(月) 09:00~10:10
場所	JICA スリランカ事務所会議室
参加者	先方：篠崎 (JICA)、阿部 (JICA)、大山 (SATREPS) 当方：松岡 (WU)、飯島 (SU)、李 (WU)

### (1) アジェンダ

- ・ A1 の活動状況と今後の計画
- ・ ガイドの性格および内容
- ・ KOICA および他援助機関との協力

### (2) 議論内容

- ・ 12月終了時評価に向けてガイドのドラフト版必要 (篠崎)
- ・ ガイドの性格・位置づけ、使用者を正確にする必要がある (松岡)  
廃棄物管理基本法、中央政府の役割などの考慮、CEA の Technical Guideline との関係
- ・ KOICA ・ EDCF が正確な方針をもって廃棄物管理支援に積極的であり、KOICA が Coordinator として役割を果たすように JICA がサポートする形も可能ではないか (松岡)
- ・ KOICA の廃棄物管理の積極的な活動を考慮し、今年の4月から廃棄物関連活動が重ならないように、3か月に一回、定期的な会議を行っている (篠崎)
- ・ JICA は今まで廃棄物管理が適切に行われていないことを考慮し、再度、基礎情報調査を行い、課題を把握して次のプロジェクトにつなげていく予定 (篠崎)
- ・ CEA からの要請もあり、CEA に JICA 専門家を派遣する (2016年4月頃、2年間) 予定 (篠崎)
- ・ シンガポールの専門家が Megapolis のようなプロジェクトの一環として、3か所の高技術焼却場を西部州に建設する計画を UDA と協力して推進中 (篠崎)
- ・ コロンボのように大都市圏では、焼却場による処理が中心になる可能性が高い→日本の民間協力などを通じて焼却場利用の積極的な活用が必要 (松岡)

### (3) 合意事項

今後、終了時評価、ガイド作成に向けて協力していく

## 2-2 ガイド作成に関する打ち合わせ(スリランカ中央・地方政府)

日時	2015年8月31日(月) 10:40~13:30
場所	National Centre for Advanced Studies in Humanities and Social Sciences
参加者	先方：Mr. Ranepura (MoHE)、Mrs. Sarojini (CEA)、Mr. Illangasinghe (NSWMS)、Mr. Narlin (WMA)、NSWMS 職員3名、Dr. Mallika (UoP)、Ms. Mahesha (UoP)、大山 (SATREPS) 当方：松岡 (WU)、飯島 (SU)、李 (WU)

(1) アジェンダ

- ・ SATREPS プロジェクトの紹介
- ・ Cluster Landfill Site Project (EDCF 支援)
- ・ NSWMSC の支援活動・状況
- ・ WMA (廃棄物管理庁) の活動・状況
- ・ ガイドの性格・内容



写真 1 廃棄物関連省庁関係者との会議

(2) 議論内容

- ・ 廃棄物管理に関しては、テクニカル的な点を中心となってきたが、実質的な計画などの実施のためには、社会的な点も十分考慮する必要がある (Mr. Ranepura)
  - ・ 各地域に合う適切な計画が必要であり、計画が適切に実施され、他の地域にもシフトしていくことが重要 (Mr. Ranepura)
  - ・ 廃棄物関連インフラ、財源、技術などが欠如しており、中央・地方政府の Institutional Arrangement が必要 (松岡先生)
  - ・ 廃棄物関連財務データの管理、独立した廃棄物管理部署が必要 (Mr. Illangasinghe、松岡先生、飯島先生)
  - ・ 衛生埋立処分場のガイドより、Open Dump から衛生埋立処分場にどのように転換していくかに関するガイドが必要 (Mr. Narlin)
  - ・ CEA の主導により推進された Dompe 衛生埋立処分場の場合、当初予定していた Dompe 周辺の 3 つの自治体からの処分は行われておらず (90t/日規模)、Dompe PS だけが処分 (10t/日) : 他地域からのごみ搬入に住民の強い反対 (Mrs. Sarojini)
- 中央政府からではなく、地方政府から推進していく Cluster Landfill Site Project 必要
- ・ 地方政府の廃棄物関連職員・労働者の能力不足 → Capacity Building のための Training 必要
  - ・ 廃棄物関連省庁間の明確な役割・責任の定義が必要 (松岡)
- スリランカの中央・州・地方政府の廃棄物関係者の定期的な会議開催必要 (Mr. Illangasinghe、Mrs. Sarojini、Mr. Narlin)

(3) 合意事項

今後、スリランカの中央省庁間、中央・地方政府間との情報・意見交換の場を広げていき、また SATREPS プロジェクトとも情報・意見交換を行う

2-3 World Bank スリランカ事務所での打ち合わせ

日時	2015 年 8 月 31 日 (月) 14:00 ~ 14:30
場所	World Bank スリランカ事務所
参加者	先方 : Ms. Darshani (WB)、Ms. Mokshana (WB)

当方：松岡（WU）、飯島（SU）、李（WU）

(1) アジェンダ

- ・ A1 の活動状況と今後の計画
- ・ ガイドの性格・位置づけ
- ・ World Bank の廃棄物管理プロジェクト

(2) 議論内容

- ・ スリランカでの廃棄物関連プロジェクトは推進していないが、2009 年からモルディブの 5 つの Small Island を中心に廃棄物管理プロジェクトを推進中←スリランカの南部州の Welligama の分別収集・コンポストの経験を反映（Ms. Darshani）
  - ・ スリランカの廃棄物管理の Institutional Aspect はまだ整備されていない（Ms. Darshani）
- 新しい大統領が環境問題に関心が高く、廃棄物問題に関しても何らかの Institutional な改革が起こる可能性はある

(3) 合意事項

今後、スリランカの廃棄物管理に関する色々な情報・意見交換

#### 2-4 KOICA スリランカ事務所での打ち合わせ

日時	2015 年 8 月 31 日（月） 15:00 ~ 17:50
場所	KOICA スリランカ事務所
参加者	先方：Mr. Sungsoo Jung（EDCF）、Mr. Sunmyung Hwang（EDCF）、Ms. Aejin Han（KOICA）、Mr. Hyounghee Youn（Kuhwa Construction Company）、Mr. Sanghoon Song（Kuhwa Construction Company）、Mr. Hyunglae Kim（Kuhwa Construction Company） 当方：松岡（WU）、飯島（SU）、李（WU）

(1) アジェンダ

- ・ A1 の活動状況と今後の計画
- ・ ガイドの性格・位置づけ
- ・ KOICA・EDCF の廃棄物管理プロジェクト

(2) 議論内容

- ・ Dompe 処分場建設における適切なガイドライン（Leachate Treatment に関する適切な基準など）の欠如、CEA の担当職員の不在→大学と協力（Ms. Aejin Han）
  - ・ Institutional Capacity の欠如（Dompe PS に管理能力がないため、現在 CEA が管理）、廃棄物関連データベースの欠如→正確な現状把握が難しい（Ms. Aejin Han）
  - ・ 当初、4 つの自治体のごみが Dompe 処分場に搬入される予定だったが、現在は Dompe PS だけが利用していると聞いている。その理由は？（松岡）
- CEA や自治体の関連職員のトレーニングを何回も行ったが、実質的な運営には適切に結

- びつかなかった。CEA は規制機関であり、運営・管理能力は不足している (Ms. Aejin Han)
- ・日本の場合、一部事務組合のような自治体連合による管理もなされているが、スリランカにおいての可能性は？ (松岡)
- スリランカの場合、中央政府に自治体間に協力させる能力が存在しない、むしろ自治体間に確実な協力意志があれば、成功の可能性が高い (Ms. Aejin Han)
- ・EDCF のすべてのプロジェクトがそれぞれ異なる機関によって実施、プロジェクトの実施能力欠如 (WMA の能力不足) →政治的・制度的側面が重要 (Mr. Sungsoo Jung)
  - ・スリランカ側が処分場の Life span を非常に重要視し、20~30 年使えるように要求→建設規模などの難しさ (Mr. Sungsoo Jung)

### (3) 合意事項

今後、コロンボをはじめ、スリランカの廃棄物管理に関して様々な側面から協力

## 2-5 ガイド作成に関する打ち合わせ (A1 メンバー)

<b>日時</b>	2015 年 9 月 1 日 (火) 10:00 ~ 11:00
<b>場所</b>	Cinnamon lakeside hotel
<b>参加者</b>	松岡 (WU)、飯島 (SU)、李 (WU)

### (1) アジェンダ

- ・ガイドの性格・位置づけ
- ・8/31 議論からの今後の課題整理

### (2) 議論内容

#### 国(中央政府)

1. 廃棄物処理基本法、法制度 (処理水基準) の整備
2. 廃棄物財政制度 (補助金制度) の整備
3. 中央政府の省庁間のコーディネーションの制度化
4. 中央政府と地方政府の関係に関する検討 (政府間関係)
5. 地方制度のあり方の再検討 (県の役割)

#### 地方政府

1. 廃棄物処理部局の自立化 (会計面も)
2. 廃棄物処理計画 (短期、中期、長期、3R と衛生処分場) の策定、PDCA
3. 廃棄物処理に関する情報公開や住民参加・市民参加の制度化 (条例化)
4. 自治体間の連携の促進 (一部事務組合)

#### 民間企業

1. 業界団体の育成
2. 環境認証 (ISO14000、CSR) などの自主的な廃棄物対策の促進
3. エコラベル、表彰制度

---

## 市民社会

1. 住民組織、ボランティア活動の促進（小学校も）
2. 環境教育の推進

## 国・地方・民間・市民社会の連携

1. PPP の制度化・推進
  2. 協議の場作り
- 

### (3) 合意事項

「上記の内容をどのように、どのような形としてガイドに反映していくのか」に関して論点整理および議論が必要

## 2-6 ガイド作成に関する打ち合わせ(SATREPS メンバー)

日時	2015年9月2日（水）10:10～11:30
場所	ペラデニヤ大学ラボ会議室
参加者	先方：Dr. Gemnu (UoP)、Dr. Shameen (UoP)、Dr. Mallika (UoP)、大山 (SATREPS)、Ms. Mahesha (UoP) 当方：松岡 (WU)、飯島 (SU)、李 (WU)

### (1) アジェンダ

- ・ガイドの性格・位置づけ

### (2) 議論内容

- ・9/1 のまとめから中央・地方・民間セクターの役割・責任および各セクター間の協力に関して考慮必要（松岡）

→上記の内容は重要であり、Appendix などを利用しながら、簡略的に入れる必要がある (Dr. Gemnu)

- ・ガイド作成後の Step の考慮も必要、どのように実施していくのか（予算的問題）、どのようにモニタリングするのかなど (Dr. Shameen)
- ・モニタリングにおける Environmental Police の役割・責任などを再考する必要がある (Dr. Mallika)

- ・持続的な廃棄物関連データの更新が必要 (Dr. Mallika)

- ・ガイドが作成されても直ぐに何か変わることにはならないため、次の行動（政策的利用、調査・研究など）につながるように多様な内容を入れる必要がある（松岡）

### (3) 合意事項

- ・ガイドの2章に、3、4、5、6章の行動を適切に実施するための方法を記述：課題把握、改善すべき点など（松岡）
- ・今回の議論の内容を他の活動メンバーとも共有・意見交換

## 2-7 ワークショップ事前打合せ

日時	2015年9月2日（水）14:10～15:00
場所	ペラデニヤ大学ラボ会議室
参加者	先方：Dr. Mallika (UoP)、Ms. Mahesha (UoP)、Mr. Ruwan (GUC)、Mr. Dilruk (UPS)、 大山 (SATREPS) 当方：松岡 (WU)、飯島 (SU)、李 (WU)

### (1) アジェンダ

- ・各自治体のワークショップ関連事項の事前確認

### (2) 議論内容

- ・各自治体のワークショップ関連の Agenda、開催場所、参加者、議論ポイントなどを確認  
→松岡先生のプレゼンテーション内容変更、キャンディ市の開催場所変更
- ・アクションプランが対象としている地域は基本にごみ収集地域のため、ごみ未収集地域からの住民代表参加者への配慮必要
- \* ごみ未収集地域は基本的に Property Tax を払わないため、ごみ収集サービス提供の義務はない (Mr. Dilruk)

## 2-8 ウダパラータ村ワークショップ

日時	2015年9月3日（木）09:25～11:10
場所	ウダパラータ村 Town Hall
参加者	先方：Secretary (UPS)、Mr. Dilruk (UPS)、自治体職員 10 名、住民代表 10 名、 Mr. Priyantha (CEA)、Dr. Mallika (UoP)、Ms. Mahesha (UoP)、大山 (SATREPS) 当方：松岡 (WU)、飯島 (SU)、李 (WU)

### (1) アジェンダ

- ・ Lightening the Oil Lamp
- ・ Opening remarks
- ・ Introduction to Workshop
- ・ Presentation of Action Plan
- ・ Discussion/Question time
- ・ Vote of thanks and Tea



写真 2 ウダパラータ村ワークショップ

### (2) 議論内容

- ・ごみ未収集地域での不適切なごみ処理に関する Awareness Program 必要 (自治体職員)  
→行政地域の広さにより、Awareness Program の実施が難しい
- ・ごみ未収集地域でもリサイクルアイテムは分別されているが、収集業者が来ないため、

適切に処理されていない（住民代表）

- ・適切な分別収集システム・インフラの欠如（住民代表）

→Pilisar Project などを利用して CEA などからの分別収集 Bin のようなものの提供が必要

- ・廃棄物管理に関する Legal frame が適切に確立されていない（住民代表）

→By law 制定などを通じて、住民に対する適切なサービス提供必要

- ・ウダパラータ村だけでは、適切な廃棄物管理を行うことは不可能（住民代表）

→Civil organization との協力必要

- ・CEA、UPS、その他の機関との協力を通じて、廃棄物管理を適切にモニタリングする体制が必要

## 2-9 ガンポラ町ワークショップ

日時	2015年9月3日（木）14:00～15:40
場所	ガンポラ町 Town Hall
参加者	先方：Secretary（GUC）、Mr. Ruwan（GUC）、自治体職員 10 名、住民代表 10 名、 Mr. Priyantha（CEA）、Dr. Mallika（UoP）、Ms. Mahesha（UoP）、大山（SATREPS） 当方：松岡（WU）、飯島（SU）、李（WU）

### (1) アジェンダ

- ・Lightening the Oil Lamp
- ・Opening remarks
- ・Introduction to Workshop
- ・Presentation of Action Plan
- ・Discussion/Question time
- ・Vote of thanks and Tea



写真 3 ガンポラ町ワークショップ

### (2) 議論内容

- ・ガンポラ町の Outside からのごみの持ち込み問題（住民代表）

→ガンポラ町の環境政策・環境計画部署による適切な対策必要

- ・ごみ未収集地域の住民に対する Awareness Program 必要（住民代表）

- ・住民に対する 3R メカニズムの Awareness Program 必要（住民代表）

- ・CEA、UPS、その他の機関との協力を通じて、廃棄物管理を適切にモニタリングする体制が必要

- ・適切な分別収集システム確立のための設備・施策（Garbage fee system）必要（住民代表）

- ・ごみ収集員の増員が必要（住民代表）

- ・適切な Awareness Program 実施のための人材必要（住民代表）

→NGO、Community Leaders などと協力

## 2-10 キャンディ市ワークショップ

日時	2015年9月4日（木）09:15～11:10
場所	Devon Bakery 2階
参加者	先方：Secretary（KMC）、Mr. Namal（KMC）、自治体職員10名、住民代表15名、 Mr. Priyantha（CEA）、Dr. Mallika（UoP）、Ms. Mahesha（UoP）、大山（SATREPS） 当方：松岡（WU）、飯島（SU）、李（WU）

### (1) アジェンダ

- ・ Lightening the Oil Lamp
- ・ Opening remarks
- ・ Introduction to Workshop
- ・ Presentation of Action Plan
- ・ Discussion/Question time
- ・ Vote of thanks and Tea



写真4 キャンディ市ワークショップ

### (2) 議論内容

- ・ ごみを不法投棄する住民が多い（住民代表）  
→住民に対する Awareness Program の増加が必要
- ・ Scavenger によりごみが散乱するため、特別な Waste Dustbin が必要（住民代表）
- ・ Mahawelli River 周辺の道沿いへの建設廃棄物の不法投棄の禁止が必要（住民代表）
- ・ ごみ減量のためには、過度な包装材の削減が必要（住民代表）
- ・ 中・高所得の住民が低所得住民レベルの家に住んでおり、実際にたくさんのごみを排出している（住民代表）  
→ごみ税の導入を考慮（Mr. Namal）
- ・ ごみ収集員からの不法なごみ収集料金徴収（住民代表）  
→ごみ収集員に対する適切な教育が必要
- ・ 道路周辺で野菜を売っている人たちのごみの不法投棄（住民代表）  
→住民に対する Awareness Program が必要
- ・ 廃棄物管理に関しては、Environmental Police が適切に役割を果たしていない（住民代表）